**科目名　コンピュータ操作**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 専門 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | 2単位 |
| **授業方法** | 講義 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 1年 |
| **学科・コース** | グローバルITメディア学科 | | | | |

**授業概要**

コンピュータを利用するうえで必要となる作業を行う上で、コンピュータにかかわる用語・知識及び操作を学習する。

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

講義の中でパソコンの操作、コンピュータの用語について話すことになるが、これらについての用語や動作の仕組みについて学習し、以後に続く教科の基盤となる。

**授業項目**

1. 情報と情報社会：情報と情報社会の特徴＿インターネット社会の光と影
2. 情報と情報社会：情報と情報社会の特徴＿情報のはたらきと性質
3. 情報と情報社会：情報の受信・発信と個人の責任＿情報の信憑性・信頼性
4. 情報と情報社会：情報の受信・発信と個人の責任＿発信する情報への責任
5. 情報社会における生活：社会生活における情報＿情報社会の新しい文化
6. 情報社会における生活：社会生活における情報＿学習環境の変化
7. Moodleの操作方法（LogIn等）
8. パソコン操作（タイピング）
9. パソコン操作（タイピング）
10. テキストエディタ使用方法Ⅰ
11. テキストエディタ使用方法Ⅱ
12. 最新技術を取りまくセキュリティのリスク：スマートフォン・タブレット
13. 最新技術を取りまくセキュリティのリスク：SNS
14. 最新技術を取りまくセキュリティのリスク：クラウド
15. 最新技術を取りまくセキュリティのリスク：IoT
16. 単位認定

**授業の進め方**

講義を主として進め、理解度のチェックにMoodleを利用した小テストで確認を行う。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

講義・期末試験において行われるテストの60%以上の理解を目標とする。知識として覚えきれないものについては、WEBを検索することで知識を引き出せる力の習得を目標とする。

**成績評価の基準および評価方法**

定期考査の点数（80%）、授業態度（20%）として評価

**教科書**

なし

**参考書**

インターネット社会を生きるための情報倫理　実教出版

情報セキュリティの基礎知識　技術評論社

**実務経験**

**備考**